

先月 6 月 22 日(土) に道徳参観日が行われ、多くの保護者の皆様にご来校していただきました。各学級にて下記の授業が行われ、ICT を活用しての授業や、保護者の方も一部参加しての授業も展開されました。今回、この道徳だよりでは、授業における児童・生徒達の感想や、保護者の方々のご意見や感想、また、今年度より小・中学校両方での完全実施となった「道徳の教科化」や、学校での取組等についてもご紹介させていただきます。

【道徳参観日授業内容】

学年	教材名	内容項目	学習のねらい
1年	かぼちゃのつる	節度、節制	人の注意を聞き、わがままをしないで生活する大切さについて考えさせ、規則正しい生活をしようとする態度を育てる
2年	僕のサッカーシューズ	家族愛 家庭生活の充実	大切な家族にどんなことができるかよいことを考えさせ、進んで家族の役に立とうとする実践意欲と態度を育てる
3年	きまりのない国	規則の尊重	身の回りにどんなきまりや約束があるのかをふりかえり、それらのきまりは何のためにあるのかについて考え、きまりの役割に気づき、きまりを守ろうとする意欲と態度を育てる
4年	本当の思いやり	親切 思いやり	親切や思いやりについて考えさせ、本当の思いやりとは相手の気持ちを察し、行動することであるという判断力や心情を育てる
5年	インターネット上のマナー	礼儀	・ネットマナーや日常生活での言葉遣いを大切にする態度を養う ・いじめという行為が、些細なことから始まる可能性があることを理解する
6年	ここを走れば	公德心 権利、義務	人間の心の弱さを理解しながらも、きまりに込められた意義を深く考えて、それを進んで守ろうとする態度を育てる
7年	トマトとメロン	向上心 個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる
8年	五月の風・ミカ	友情、信頼	互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくろうとする態度を育てる
9年	中学生・高校生の心の叫び (インターネットより)	相互理解 寛容	相手の気持ちを想像し、思いやる心を育てるとともに、命の尊さについて考えることで、生命に対する畏敬の念に基づく人間関係を深める

【児童生徒感想】

【1年生】(わがままを通したかぼちゃが感じたこと、考えるべきこと)

- ・ともだちの言うことをきいていればよかった。
- ・人にめいわくをかけなかったらよかった。

【2年生】・お風呂をわかすことができる。そのわけは、きもちいいお風呂に入ってほしいからです。

- ・料理をつくるときに手伝うこと。そのわけは、しごとおわりでつかれているから、ふたんをかけたくないからです。

【3年生】(自分の生活をふりかえって)

- ・わたしは、家で朝起きたら、家族に「おはよう」を言うことを守っています。
- ・指示を聞いてすばやく行動する、おそくまで外であそばないことが守れている。

【4年生】・本当の思いやりとは「相手にとっても自分にとってもいいこと」をすることが大切。

- ・けがやかぜぎみの人にも、ただ手伝うだけでなく、まず相手の気持ちを考え、行動する。

【5年生】・私がもしスマホを持ったら、使うのは「1日30分だけ」と決めて、ラインをするときは、

- 送信する前に自分の言い方がよかったか確認しようと思いました。

- ・もしスマホを持ったら、よく分からない表現や気持ちが読み取れないようなスタンプは使わない



【6年生】・私は、例え急いでいても、どんな用事があっても、ルールは絶対に守らないといけないと改めて思いました。

・僕は、お父さんが、おじいさんの言ったことを最後まで守っていてすごいなあと思いました。きっとおじいさんも天国で「よく守った」とほめていると思います。

【7年生】・人それぞれ違った特徴をもっているけれど、一生懸命に生きているのはみんな同じだと思った。

・トマトとメロンの話を人に例えると、他と比べて自分自身や周囲に優劣などをつけてはダメ。

【8年生】・信頼される友達になるためには、言葉や態度で優しく接することや正直に向き合うことが大切。

・[友を大事にすること]=[伝えたいことをしっかりと伝える]→[絆の深まり]→[信頼し合い]

【9年生】・「笑い」の中でも、本当に笑ってもよい「笑い」と、誰かの立場を考えると本当は笑ってはいけない「笑い」があることについて考えることができた。

・何気ない言動でも、相手の立場に立って考えたり、人を傷つけないように気をつけなければならないと思った。



【保護者感想】

さすが6年生の姿がみられました。一人で考え、班で考えることによって、自分の考え（を深め）、友達の考えを聞く力もつくと思いました。

自分の子はよくわがママを言うので、今日の「わがママ」というテーマはとてもありがたかったです。少し緊張気味でしたが、発表もできて、こどもの成長した姿がみられました。

低学年の授業は楽しくみられ、高学年になると成長を感じます。iPadの授業もすごいと思いました。

4年生に合っている課題でした。思いやりは仲間づくりにも重要であり、これから大切なこと。

自分たちの行動で相手がどんな思いをするのか、普段の生活の中で気づいてほしいかな。

積極的に手を挙げ発言できていたのでほめてあげようと思いました。

日直さんが授業を進めることが、子供の自信につながっているといます。

本当のやさしさ、押し付けではなく、相手の立場にたって考えられるようになってくれるといいなあと思いました。

積極的に手を挙げて発言している子供さんがいて、我が子も見習ってもらいたいと思いました。授業内容は、大人でもルールを守る（守らない）ことにより、良い結果になったり悪い結果になったりするので「自分で考えて答えを出す」という点ではとても良い内容だったと思います。

タブレットを使った授業を初めて見せてもらい、すごく有効に使われていると感じました。生徒も授業に対して真剣に取り組んでいると感じました。

「道德の授業は、答えに間違いがないよ」と先生が言っていたので、その通りだと思いました。家でも今日の授業を振り返って話したいと思います。大人にとっても良い授業でした。

みんなが自分のことにおきかえて考えていてよかったです。何か行動する前に、相手のことや自分がされたらと考えられるようになってほしいですね。

6年生にもなると「来んといてよー！絶対に一！」と言われており、授業の終わりにこっそり参観しました。先生のやる気の出させ方、注目させる様子に、「先生すごいなあ」と思いました。家でもやる気を出させれたらなあ。

たくさんのご感想やご意見をいただき、ありがとうございました。今後の教育、学習に活かしていきます。



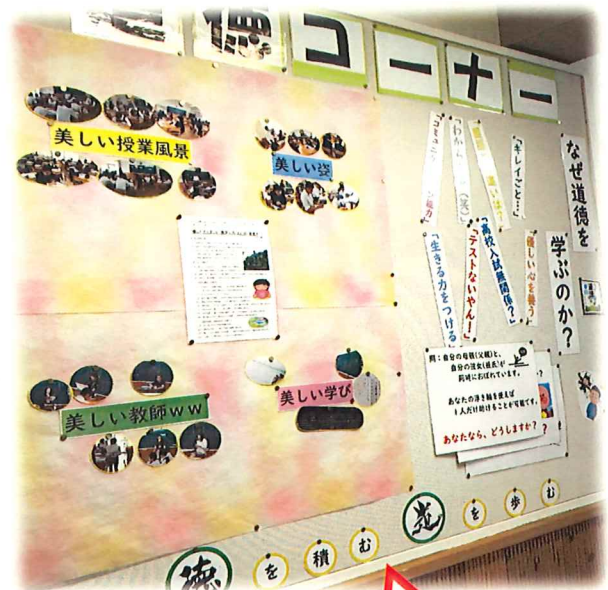
【道徳教育で目指す! 梶原学園の児童・生徒像】

- 思いやりと感謝の心をもち、協力し合える児童・生徒
- 自分のよさを知り、仲間のよさを認め、それらとさらに伸ばそうとする児童・生徒
- 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての誇りをもって郷土を愛し、その発展に努めようとする児童・生徒



いじめ問題の多発等からも道徳の重要性が全国的に叫ばれ、小中学校では昨年度から（中学校では今年度から）「特別の教科 道徳」が実施されています。本校においても下記の道徳教育目標を掲げ19～22の内容項目のもと児童生徒の道徳性の育成に日々取り組んでいます。

下記の視点一つ一つについて一年間をかけて学習していきます。



優しく たくましい 梶原人の 22 の 道徳力【中学校編】

A 自分自身に関して

- (1) 何事も自分で判断、決定、実行し、自分の言動に責任を持つ力
- (2) 望ましい生活習慣を身に付け、安全で調和のある生活をする力
- (3) 自分のよさを見つめ、個性を伸ばしていく力
- (4) 目標や希望に向かい、勇気を持って生き抜く力
- (5) 真理、真実を求め、自分の人生を切りひらく力

B 人との関わり

- (6) 思いやりの心を持ち、人々の善意や支えに感謝する力
- (7) 礼儀の意義を理解し、その場に応じた言動をとる力
- (8) 理解し合い、高め合える友達や異性のことを正しく理解し、相手の人格を尊重する力
- (9) 個性や立場を尊重し、他の人から学ぶ姿勢を育む力

C 社会や集団との関わり

- (10) 法やきまりの意義を理解し、社会の秩序と規律を高める力
- (11) 公正・公平で差別や偏見のない社会の実現を目指す力
- (12) よりよい社会をつくろうとする力
- (13) 勤労の尊さを理解し、みんなの幸福や社会の発展に努める力
- (14) 家族の大切さを再認識し、その一員であることを自覚する力
- (15) 学校を愛し、よりよい校風をつくり、役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努める力
- (16) 地域社会の一員として、郷土を愛し、その発展に努める力
- (17) 日本を愛し、優れた伝統の継承と、新しい文化を創造し、その発展に努める力
- (18) 他の国の人々や、異なる文化を理解し、世界平和の実現を目指す力

D 生命や自然、崇高なものとの関わり

- (19) かけがえのない生命を尊重する力
- (20) 自然を大切に、進んで自然の愛護に努める力
- (21) 美しいものや気高いものを愛し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深める力
- (22) 人間として誇りをもって生きていく喜びを味わう力

道徳コーナーより

問：アンパンマンは
本当に正義の味方なのか？

正義の味方は
悪を倒すために
暴力を使ってよいのか？

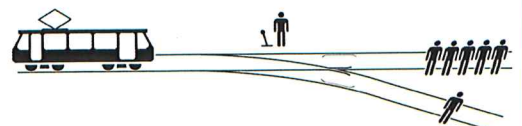


あなたは どう思う？

しっかりと考えてみましょう

問：暴走した電車の先には5人の人がいます。
線路を切り替えれば1人の人がいます。

あなたなら、どうしますか？



こんなことが変わりました！

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ① 「道徳の時間」 | → 教科の一つ「特別の教科」として改正 |
| ② これまでの学習スタイル | → 考え、議論する学習の重視へ |
| ③ 読み物教材としての副読本 | → 検定教科書の使用 |
| ④ 評価なし | → 評価の導入（通知表に評価欄が設けられます） |

道徳の評価はどのように行われるの？

- ★ 授業の中での発言や様子、ワークシートや感想文などを参考に、道徳性に係る一人一人の成長の様子を把握しながら、学期や年間など長期間での見取りを通して評価が行われます
- ★ 児童生徒の道徳的価値の理解についての「記述(文章)評価」です
- ★ 児童生徒の「よさを伸ばす、励ます」評価 です
- ★ 高校の入試選抜の可否判定には活用されません

【参考・引用文献：文科省「特別の教科 道徳 の指導方法・評価等について（報告）[概要]」】

